

歴史講座全2回(3月12日・26日) ご感想・ご意見 No.1

◆戦争の資料は家の中にもあったり、遺族会活動で目にする人が多い。昭和元年生まれのおばが、古川女学校時代、学徒動員で20名位の方と兵隊との記念写真をはじめてみて、場所がわからず古川近くにいったものか知りたいと思った。おじが90才過ぎた頃特攻隊(都域)にいたことを初めて聞き、彼の戦争体験と職場についてまとめてみた。若い中でもむじゃきな青年でした。(70代以上)

◆戦争の軍事施設は全く無駄・無益であるばかりではなく、有害なものである。大きな災害ともいえるであろう!!つまり、戦争をしない⇒平和を維持する⇒外交努力にかかっているといえるであろう!!(70代以上)

◆興味を持つ企画。市民の中で一度も来場した事がない方も入りやすい企画があれば好ましいです。(年代未記入)

◆宮城県、大崎の視点が大切。史料集中集積の呼びかけを。(60代)

◆パワーポイントの文字の大きさを次回は大きくして頂きたいです。(40代)

◆初めて来館させて頂きました。講演会があったので・・・父母とも戦争にかかわりがあるため関心があり・・・講師の先生に後で質問させて頂きましたがとても親せつに対応して頂きました。ありがとうございました。(60代)

◆ありがとうございました。仙北に居住している者として、仙南のことが知識としてあまりありません。殆んど今回の話の内容はわかりませんでした。仙南に出掛ける際に改めて見てきたいと思います。戦争の”ヒサンさ”考えさせられました。(70代)

◆県内にこのような軍事施設があることを今回初めて知った。また、その痕跡が多く残っていることも驚いた。いつか船岡を訪ねてこの痕跡を確認してみたい。いい講演内容だったと思う。(60代)

◆本日の講座とてもわかりやすく良かったです。ありがとうございます。(60代)

◆今までと違って突発的な内容だったので、難しい所も多かったです。でもきいて良かったです。おわりに以降どうなったかについて、もう一度ききたかったです。(70代以上)

歴史講座全2回(3月12日・26日) ご感想・ご意見 No.2

◆ロシアのウクライナ侵攻が長びいていますが、いちばん喜んでいるのはアメリカなのだそう。人やモノが不足して、国力がおとろえているのを待っているようで、そういう見方をすると、巨悪の本丸がプーチンではなく、他の所にありそうにすら思える。供木というのは心が痛くなる。特に神社仏閣の御神木は切るべきではない。人間が作った大伽藍があっての神と仏ではなく、御神木があっての御本尊であり、寺や神社なのだと思し、動物や虫や精霊など、人間以外の生命を守る森を壊すことになる。失われた木材を補うための戦後の植林政策で植えた杉の花粉バ敏感なこの体が戦争の負の遺産を自分に訴えてくれているとしたら有難いことのように思えます。(50代)

◆後藤先生のお話2回ともたいへん感銘を受けました。同じ視点で、ここ我が大崎地域の「戦争と地域社会」についても学びたいと思います。(60代)

◆かねがねこんなのでセンソウに勝とうなどと思上がった軍部に腹立たしい。日本が滅びるのでサイゴの一戦をしたと思えばだろろうが。(70代以上)

◆大変興味深く拝聴しました。漠然としか知らなかった人とモノが戦争という名のもとにどのように使われたのかが、とてもよく分かりました。(70代以上)

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。

歴史講座全2回(3月12日・26日) ご感想・ご意見 No.3

◆中学校の授業で多少かみくだいて説明できると良いと思います。
(70代以上)

◆レジメの最初のほうで、「戦争を考える国民」をつくとあり、20年前、パレット大崎で戸籍というものは徴兵と税金集めの為に作られたということを学習したことを思い出し、歴史の真相の1つをつかんだような気がして、それ以来、このような講座に通うようになりました。その時の講師が佐藤としあきさんだったと思います。健康保険制度も「労働力と健康な兵士の確保」のためですか。こうやって個人を取り込んだのですね。火薬廠があったこと初耳です。角田にロケットがあるのも、それと関係しているのですね。(50代)

◆今回の講座に関する書籍・資料の紹介をお願いします。(書面で) (70代以上)

◆思っていた内容とは違ったけど、初めて知ることばかりで興味深く拝聴できました。(大崎市の市民生活に関する内容と勘違いしてました) (40代)

◆戦線と銃後が一本化しているという戦争の恐ろしさ。宮城県がまきこまれていたんだなど。(70代以上)

◆後藤先生は、よく詳しく調べていらっしゃると思いました。(70代以上)

◆なにより近接の史料の提示でわかりやすかった。(60代)

◆戦争になると、すべてが狂気になる。モノは戦時の資源になる。ヒトは、兵士そして労働力となり地域はその狂気によって疲弊し社会がつぶされてしまう・・・こと、よく判りました!! (70代)

◆父は19年生まれで満州で4年兵士としてS20に帰り・・・。母はS2年生まれの95才で健在です。嫌な時代、軍需工場で働いたという話を聞いており関心があり参加させて頂きました。テレビもよく戦争の事をしてしていると見てしまいます。今日は有難うございました。(60代)